



徳島大学病院アンチエイジング医療センター
松久 宗英 教授



やせたい気持ちが大切

生活習慣や遺伝的素因により生じる肥満は、高血圧、糖尿病、脂質異常症などさまざまな健康障害を引き起こし、患者さんの生活の質や生命予後を損ないます。中でも徳島県は国内有数の肥満者が多い県で、小児期からの肥満該当者が多いことも大きな問題です。体格指数(BMI)

＝体重÷身長(㎡)÷身長(㎡)が25以上あり、内臓脂肪型肥満や肥満と関連する健康障害を合併すると「肥満症」と診断されます。1人でも多くの肥満症の方の

評価に基づく個別化した治療を勧めています。また、食欲という本能や動きたくないという怠惰な心に打ち勝つために、生活のコツの伝授や教育入院による成功体験を経験してもらいます。また、減量を支援するスマートフォンアプリも開発中です。

減量へ支援できるよう、徳島大学病院内分泌・代謝内科では、2019年から肥満症外来を本格的に開始しました。患者さんが普段の生活でなぜ太るのかを、生活習慣と社会環境、さらに心の問題として捉え、その

では、消化器外科と連携して外科治療を行います。腹腔鏡下袖状胃切除術により食事を抑制することは、糖尿病を根治やインスリン中止に至らしめる場合も多く、生命予後を延伸する有効な治療でもあります。

ただし、患者さんのやせたいという気持ちが何よりも大切であり、それがあればぜひ私たちと一緒に夢を実現しませんか。専門医とともに看護師や管理栄養士がチームとなって皆さんのやる気をサポートしていきます。